

スカパーJSATグループ
2016年度第1四半期決算説明会

2016年8月4日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第1四半期連結決算概要

業績修正について(6/17発表)

- 防衛省PFI事業衛星1号機の打上げ遅延に伴い、6月17日に下方修正発表。
- 防衛省PFI事業衛星2号機については、2016年度第4四半期打上げ予定。

(単位:百万円)

	2016年度 従来通期予想	2016年度 修正通期予想	修正率
営業収益	221,500	195,000	△12.0%
営業利益	22,500	21,000	△6.7%
経常利益	23,000	20,500	△10.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	15,000	13,000	△13.3%
EBITDA *1	47,600	44,200	△7.1%

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

損益概要

- 有料多チャンネル事業の費用減等により、前年同四半期比、減収増益。

(単位:百万円)

	2015年度 1Q	2016年度 1Q	増減率	通期予想 進捗率	FY2016 通期予想
営業収益	41,122	39,707	△3.4%	20.4%	195,000
営業利益	5,855	6,266	7.0%	29.8%	21,000
経常利益	5,792	6,285	8.5%	30.7%	20,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,788	4,284	13.1%	33.0%	13,000
EBITDA *1	11,563	11,700	1.2%	26.5%	44,200

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2015年度 1Q ~ 2016年度 1Q)

- 有料多チャンネル事業は対前年同四半期比 減収増益
- 宇宙・衛星事業は対前年同四半期比 減収減益

(単位:百万円)

	2015年度					2016年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
営業収益	41,122	40,633	41,710	39,438	162,905	39,707
有料多チャンネル事業	30,904	30,636	29,690	29,184	120,415	30,095
宇宙・衛星事業	13,320	13,098	14,992	13,187	54,599	12,626
消去又は全社	△3,102	△3,101	△2,972	△2,932	△12,109	△3,013
営業利益	5,855	5,015	7,689	5,650	24,210	6,266
有料多チャンネル事業	1,307	772	3,087	1,074	6,241	1,861
宇宙・衛星事業	4,714	4,407	4,752	4,738	18,611	4,585
消去又は全社	△166	△164	△150	△162	△643	△180

有料多チャンネル事業の主要指標（*）

	2015年度 1Q累計	2016年度 1Q累計	2016年度目標値
新規加入件数(万件)	12.0	8.6	43.0
純増数(万件)	2.3	△0.9	2.0
累計加入件数(万件)	348.4	347.3	350.2
加入者月額支払単価(¥)	3,378	3,331	-
ARPU(¥)	2,232	2,164	-
SAC単価(¥)	32,051	37,790	-

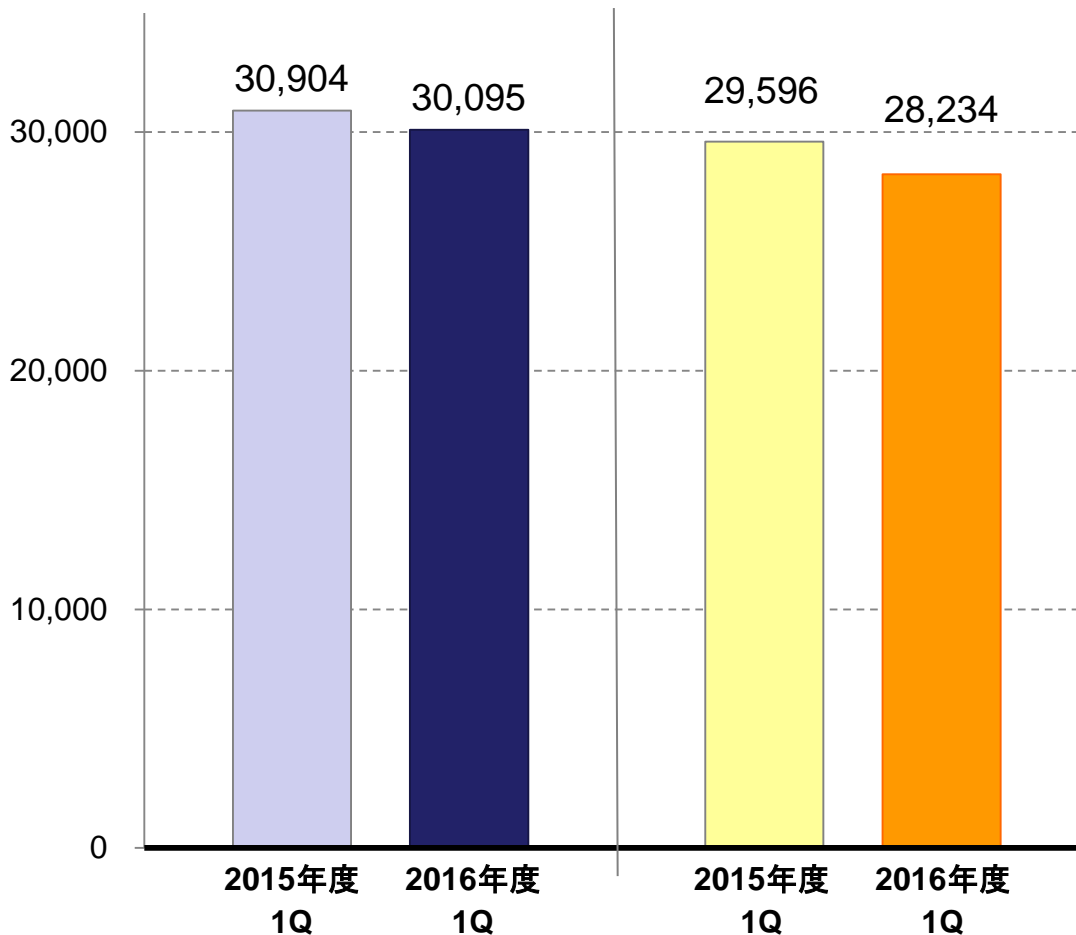
* スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

有料多チャンネル事業の業績概況：前年同四半期比

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲8.0億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- スカパー！業務手数料収入増加：+3億円
- プレミアム視聴料収入の減少：△7億円
- その他：△4億円

営業費用(▲13.6億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 番組供給料の減少：△3億円
- 広告宣伝費の減少：△4億円
- 減価償却費の減少：△2億円
- その他費用の減少：△5億円

宇宙・衛星事業の業績概況：前年同四半期比

営業収益(▲6.9億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

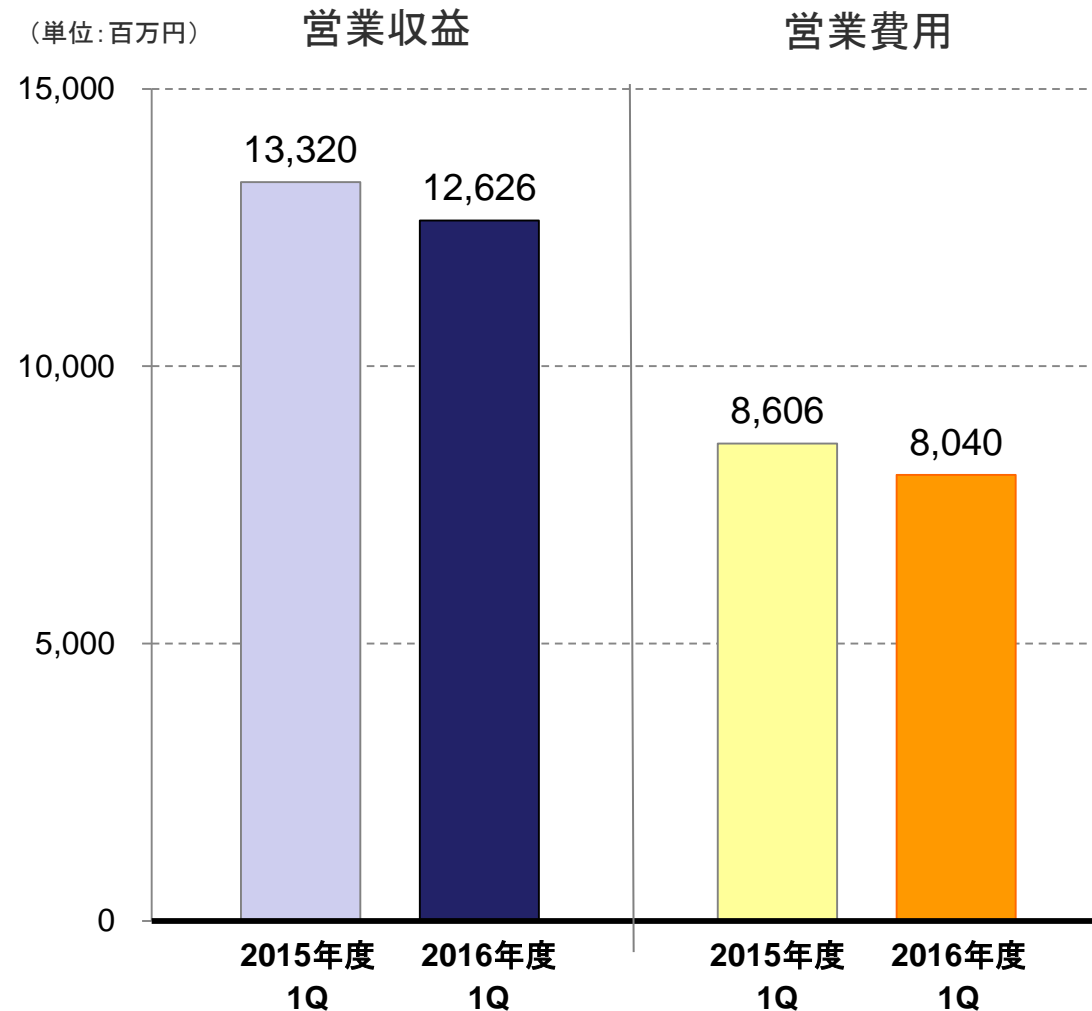
- ▶ 海外顧客の利用減少：△4億円
- ▶ その他の減少：△3億円

営業費用(▲5.6億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- ▶ 衛星減価償却費の減少：△3億円
- ▶ 衛星事業原価等の減少：△3億円



今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

FTTHによる加入者獲得、再送信事業の拡大

■ Softbankと協業開始(7月7日より)

スカパー!

The logo for SoftBank 光, featuring the text "SoftBank" in grey and "光" in yellow.

概要

全国約5,650店舗にて販売

「ソフトバンクショップ」、「家電量販店」、「Y! モバイルショップ」

販売商品

スカパー！セレクト5

スカパー！新基本パック

■ NTTドコモとの協業(4月20日より)

スカパー!

The logo for NTT docomo, featuring the text "NTT" in red above "docomo" in red.

概要

ドコモショップ約1,500店舗にて販売

販売商品

スカパー！セレクト5

プレミアムサービス光 光パックHD

今後のコンテンツ

■ スポーツ

- ✓ 欧州サッカー 各国リーグ／UEFAチャンピオンズリーグ／UEFAヨーロッパリーグ



写真：アフロ

■ 4K総合

- ✓ 平成28年度富士総合火力演習「そうかえん」



「陸上自衛隊HPより引用」

■ オリジナルドラマ

- ✓ BSスカパー！オリジナル連続ドラマ「弱虫ペダル」



(C) 渡辺航(週刊少年チャンピオン)

(C) 渡辺航(週刊少年チャンピオン) 2008
スカパー！・東宝・舞台「弱虫ペダル」製作委員会

■ 音楽

- ✓ 完全生中継
「THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2016
-YOKOHAMA SPECIAL-」



世界初 4K HDR放送について

■スケジュール

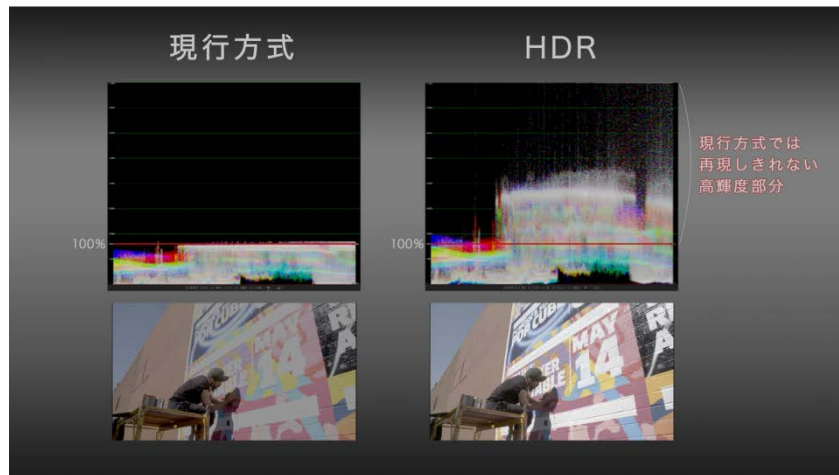
- ✓ 2016年10月4日～ チャンネル「スカパー！4K体験」にてHDR放送開始
- ✓ 2017年春～ チャンネル「スカパー！4K総合」／「スカパー！4K映画」でのHDR放送開始予定

■採用方式

- ✓ テレビ放送との親和性の高い「Hybrid Log-Gamma方式」

■受信可能チューナー

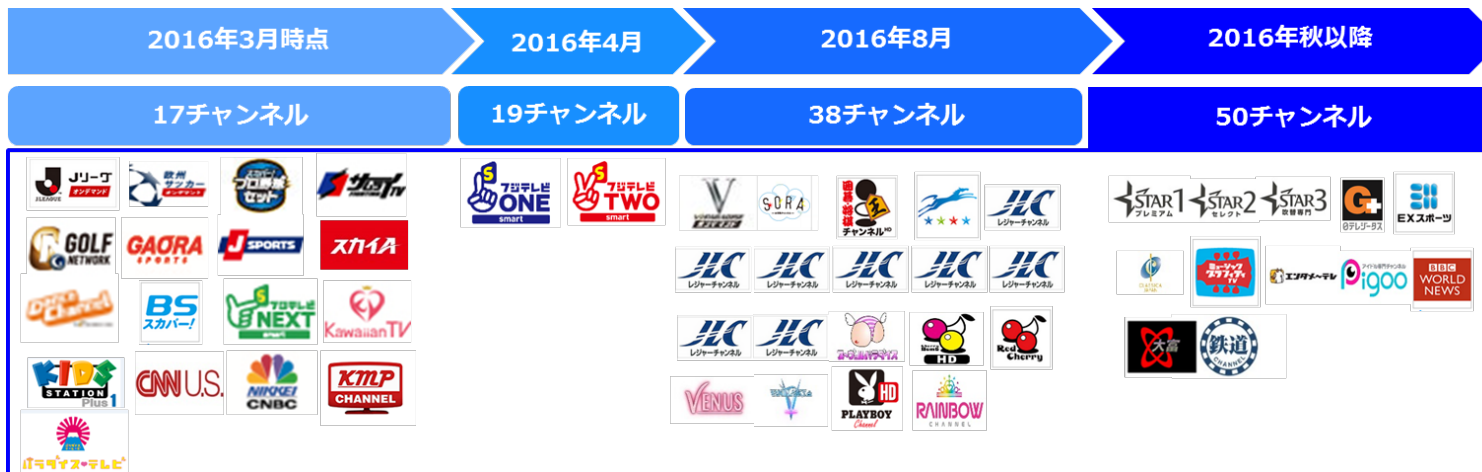
- ✓ 2016年10月時点：東芝 4Kレグザ Z20Xシリーズ
- ✓ 2016年10月以降：他メーカーは現在交渉中、順次拡大。



スカパー！オンデマンドについて

■リニアの強みを活用したIPサービス展開を加速

- ✓ 8月よりIPリニア配信チャンネルを順次拡大



✓ スマートテレビでのアプリ展開

- メーカー各社スマートテレビへのアプリ展開を2017年に予定。

〈アプリ展開イメージ図〉



〈サービス展開デバイス〉



8月放送 UEFAチャンピオンズリーグ 16/17 プレーオフ 1st leg&2nd leg 写真：ロイター/アフロ

2016年度末 登録者数100万件を目標

※2015年度末 登録者数約70万件

WAKUWAKU JAPANの取り組み

■ 現在の展開国／プラットフォーム

✓ 3カ国10プラットフォーム 視聴可能世帯数約350万（※タイを除く）

<インドネシア>	<ミャンマー>	<シンガポール>	<タイ>
※地上波デジタル放送「Ch3SD」の放送枠に番組を供給。			

■ 新規開局情報

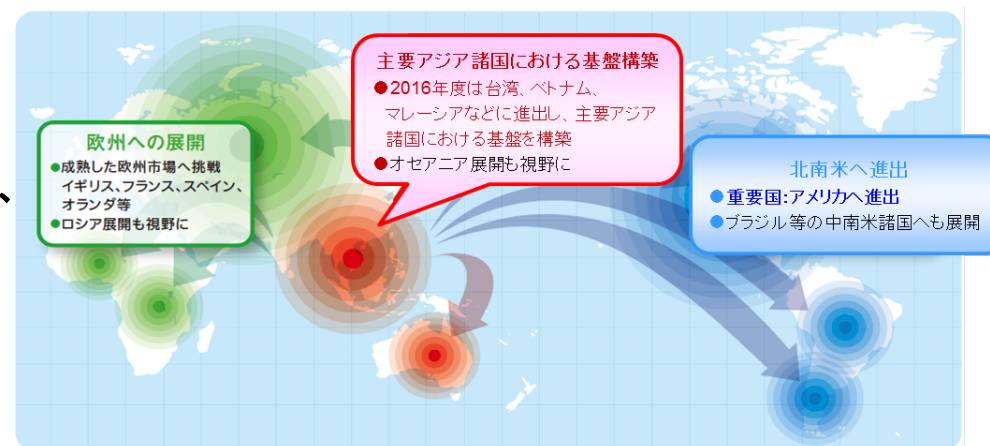
➤ 台湾での複数のプラットフォームでチャンネル開局

- ✓ 9月上旬にCATV及びIPTVにおいて開局
- ✓ 参入パッケージ: ベーシックパッケージ

➤ WAKUWAKU JAPANの有料放送の視聴可能世帯数は、台湾を加え、合計520万世帯に拡大

✓ 今後さらに多くのプラットフォームに加入し、放送拡大予定

<今後の展開予定>



2016年度末 視聴可能世帯1,000万世帯を目標

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

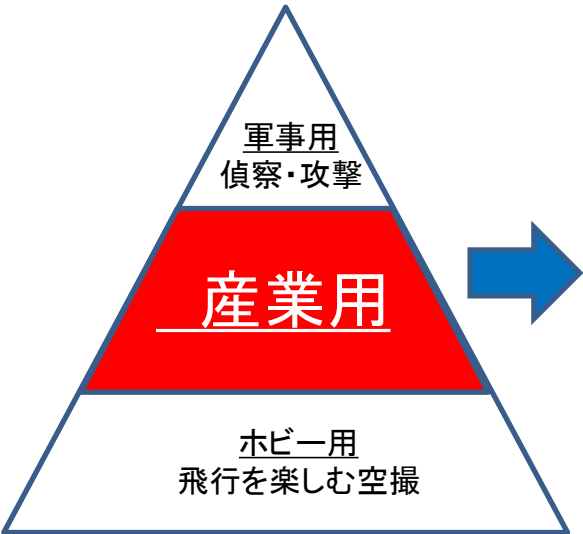
国内市場への取り組み ①

■ 当社グループの衛星ネットワークによるドローン市場への取り組み

- ✓ 2016年7月に衛星ネットワークは、産業用ドローン開発国内最大手であるエンルート社の株式取得及び第三者割当増資引受を行い、同社の66.7%の議決権を取得。



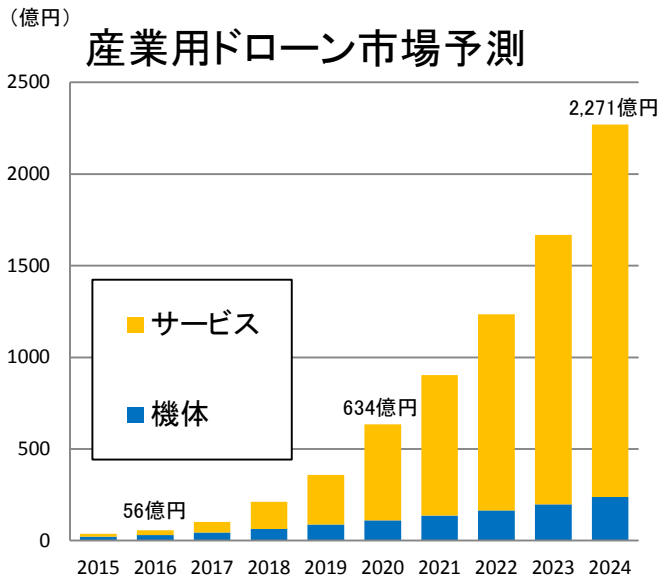
PG-700
(エンルート社製)



【想定分野】	【代表的用途】
インフラ分野	⇒ 施設の保守点検
農業分野	⇒ 農薬散布 育成状況管理
空撮分野	⇒ テレビ・映画の空撮
災害分野	⇒ 被災状況確認 危険地域での活動支援
建設測量分野	⇒ 地形の測量 建設作業の支援
警備分野	⇒ 空中からの警戒監視
物流分野	⇒ 輸送宅配 緊急物資配送



QC-730
(エンルート社製)

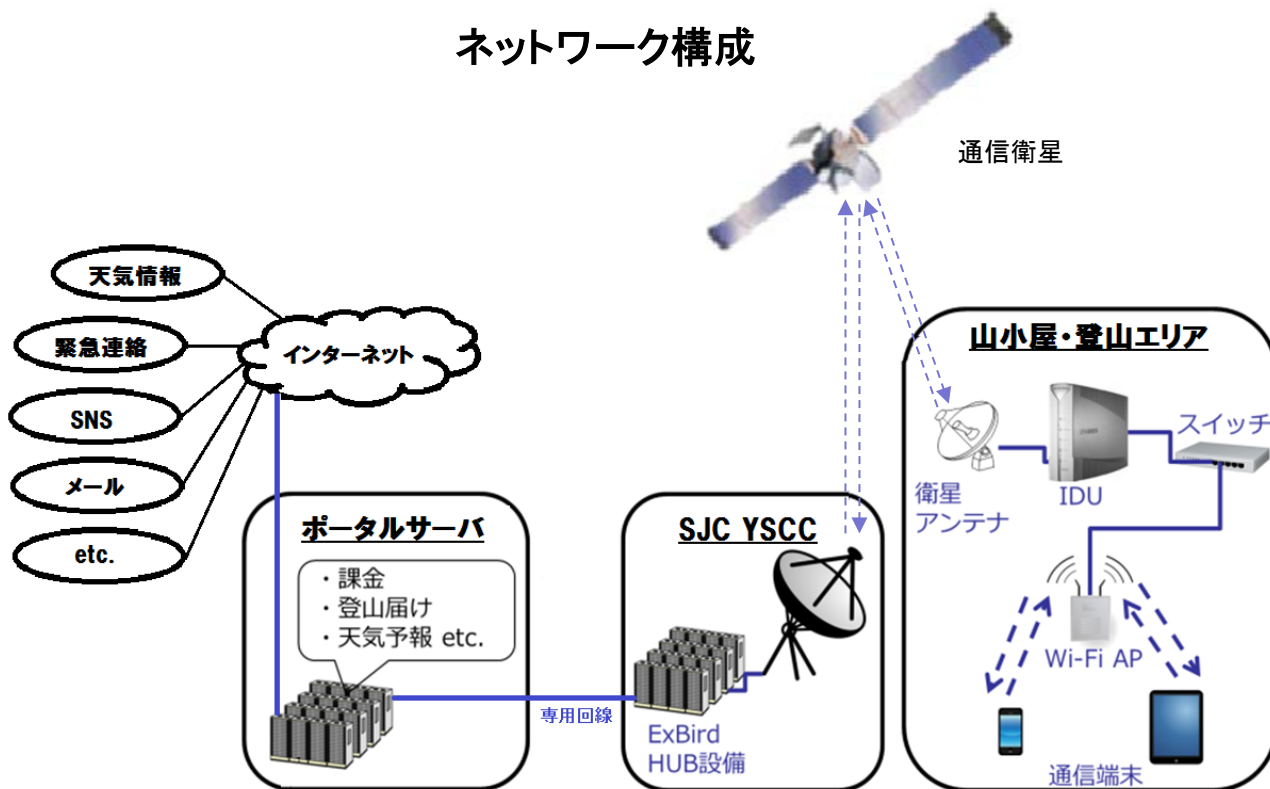


出典: シードプランニング

国内市場への取り組み ②

■ 山岳地域における、衛星通信を介したWi-Fi接続サービス

- ✓ 山岳地域の携帯電話不感地域において衛星回線によるWi-Fi接続サービスを今夏より開始。
- ✓ 日本山岳ガイド協会と 北アルプス ブロードバンドネットワークと共に、北アルプスの山小屋(5箇所)及びその周辺地域でのWi-Fi接続サービスを提供。
- ✓ 天気情報の取得や緊急連絡手段等、ライフラインとしての活用を見込む。



各社の役割

【スカパーJSAT】

- ・衛星回線及び関連機器提供
- ・Wi-Fi関連機器提供

【日本山岳ガイド協会】

- ・課金システム提供
- ・ポータルサイト運用

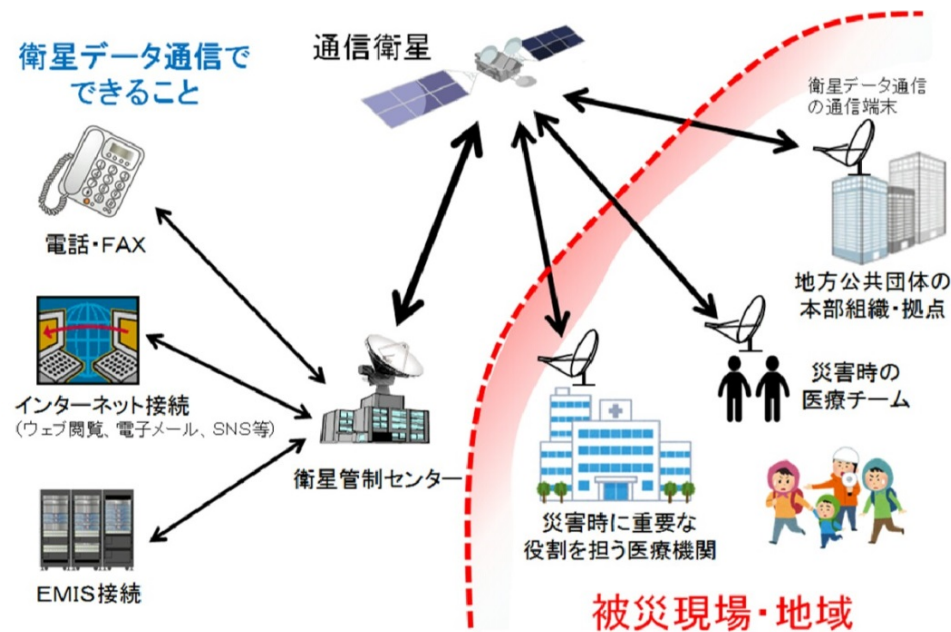
【北アルプス ブロードバンドネットワーク】

- ・各山小屋との設置交渉
- ・設置に係る各種認可申請業務

国内市場への取り組み ③

■ 災害医療等における衛星通信の取り組み

- ✓ 2016年6月29日に、総務省が「災害医療・救護活動において確保されるべき非常用通信手段に関するガイドライン」を公表。
- ✓ 同ガイドラインでは、災害医療・救護活動における衛星通信手段の確保を推奨。
- ✓ 災害時に重要な役割を担う医療機関（災害拠点病院、救命救急センターや大学病院等）、地方公共団体の本部組織・拠点及び災害時の現場における衛星地球局設備の導入・利用拡大を見込む。



出典:総務省 災害医療・救護活動において確保されるべき非常用通信手段に関するガイドライン(別添)

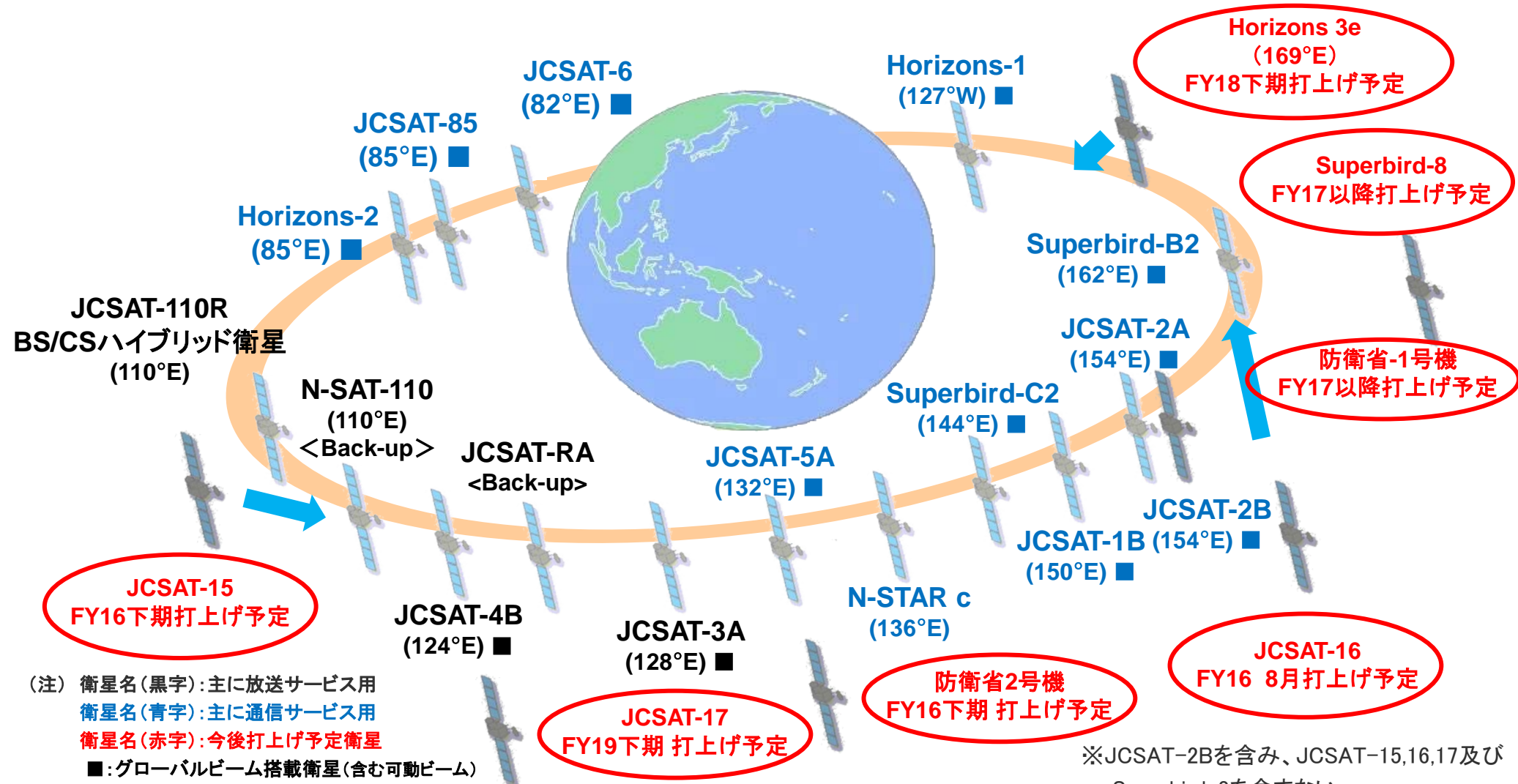
打上げ予定衛星一覧

■ 衛星打上げスケジュール等の変更

(変更箇所:赤字部分)

	JCSAT-14(2B)	防衛省PFI事業 1号機	Superbird-8
衛星バス	SSL1300	DS2000	DS2000
製造メーカー	Space Systems/Loral	三菱電機	三菱電機
ロケット	Falcon9	Ariane5	Ariane5
打上時期	2016年上半期打上げ予定 ⇒2016年5月6日打上げ成功	2016年上半期打上げ予定 ⇒2017年度以降打上げ予定	2016年上半期打上げ予定 ⇒2017年度以降打上げ予定
軌道位置	東経154度	-	東経162度
目的	JCSAT-2A後継 (国内・海外・モバイル)	防衛省PFI事業用衛星	Superbird-B2後継機 (国内)
	JCSAT-16	JCSAT-15	防衛省PFI事業 2号機
衛星バス	SSL1300	SSL1300	DS2000
製造メーカー	Space Systems/Loral	Space Systems/Loral	三菱電機
ロケット	Falcon9	Ariane5	H-II A
打上時期	2016年上半期打上げ予定 ⇒2016年8月打上げ予定	2016年上半期打上げ予定 ⇒2016年度下半期打上げ予定	2016年度下半期打上げ予定
軌道位置	軌道上予備衛星 ⇒東経162度	東経110度	-
目的	軌道上予備衛星	N-SAT-110後継 (有料多ch・モバイル)	防衛省PFI事業用衛星

北米上空からインド洋上空まで計16機[※]の衛星を保有



(注) 衛星名(黒字):主に放送サービス用
 衛星名(青字):主に通信サービス用
 衛星名(赤字):今後打上げ予定衛星
 ■:グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

※JCSAT-2Bを含み、JCSAT-15,16,17及び
 Superbird-8を含まない

(参考資料)

業績修正(セグメント別)

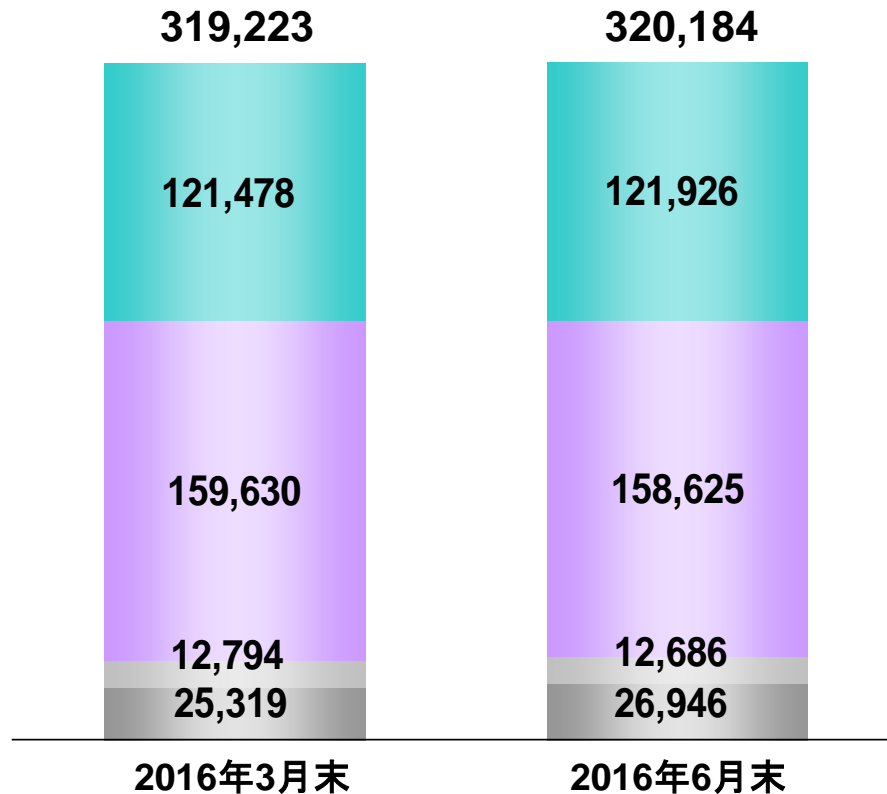
(単位:百万円)

	2016年度通期修正予想			連結合計
	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	消去又は全社	
営業収益	120,600	86,300	△11,900	195,000
営業費用	115,600	69,600	△11,200	174,000
営業利益	5,000	16,700	△700	21,000

連結貸借対照表

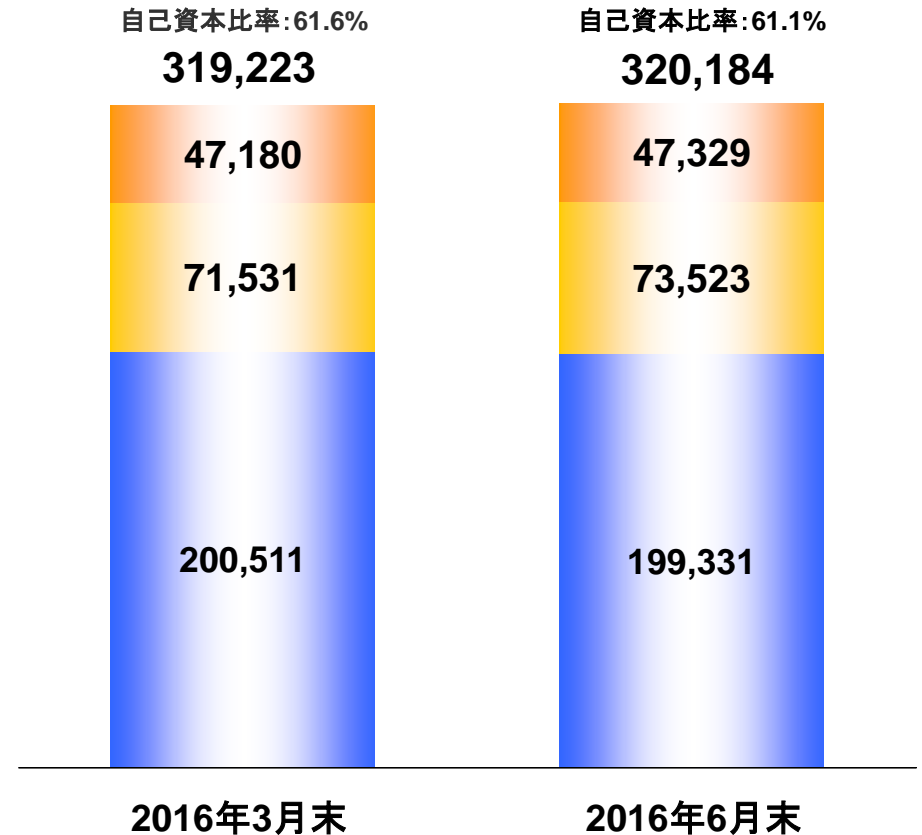
資産

(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

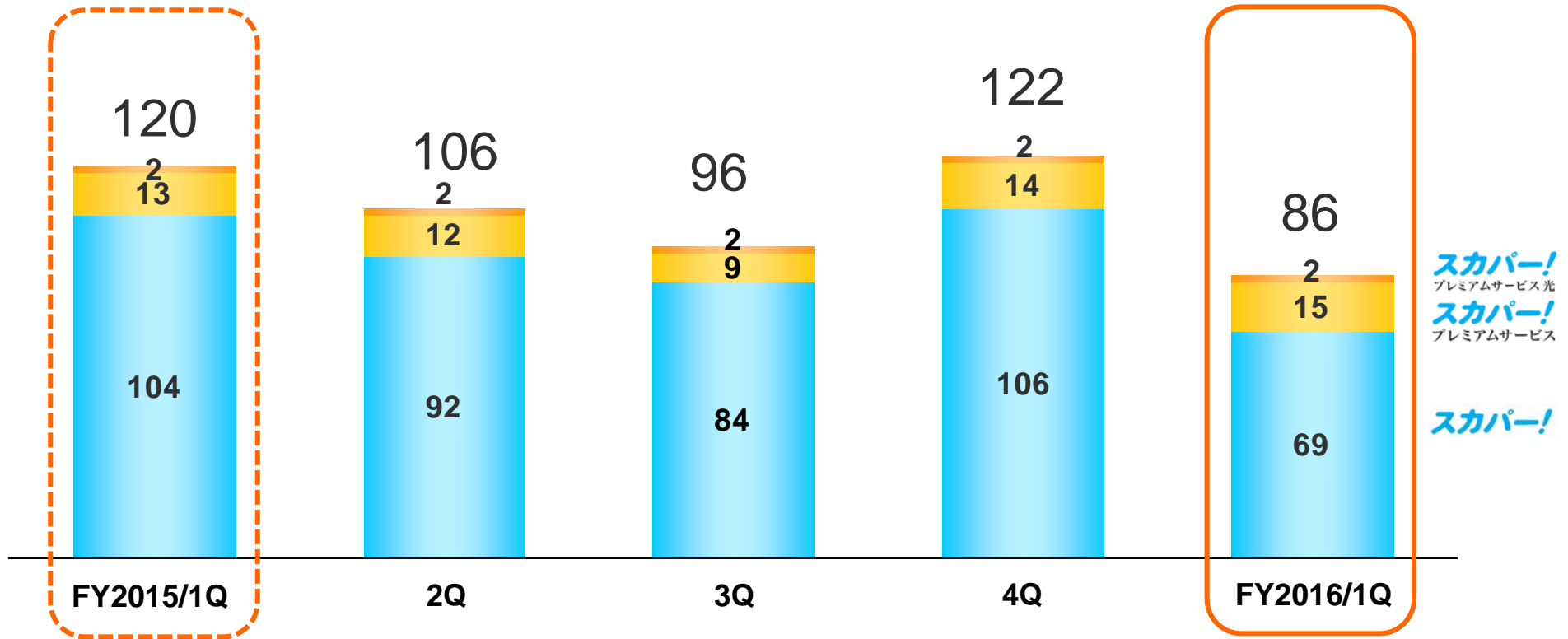
	FY2015/1Q 累計	FY2016/1Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,784	4,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,066	△4,905
フリー・キャッシュフロー (*1)	682	△705
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,868	△919
現金及び現金同等物の期末残高(a)	52,515	46,854
有利子負債期末残高 (*2) (b)	58,366	65,323
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	5,851	18,468

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

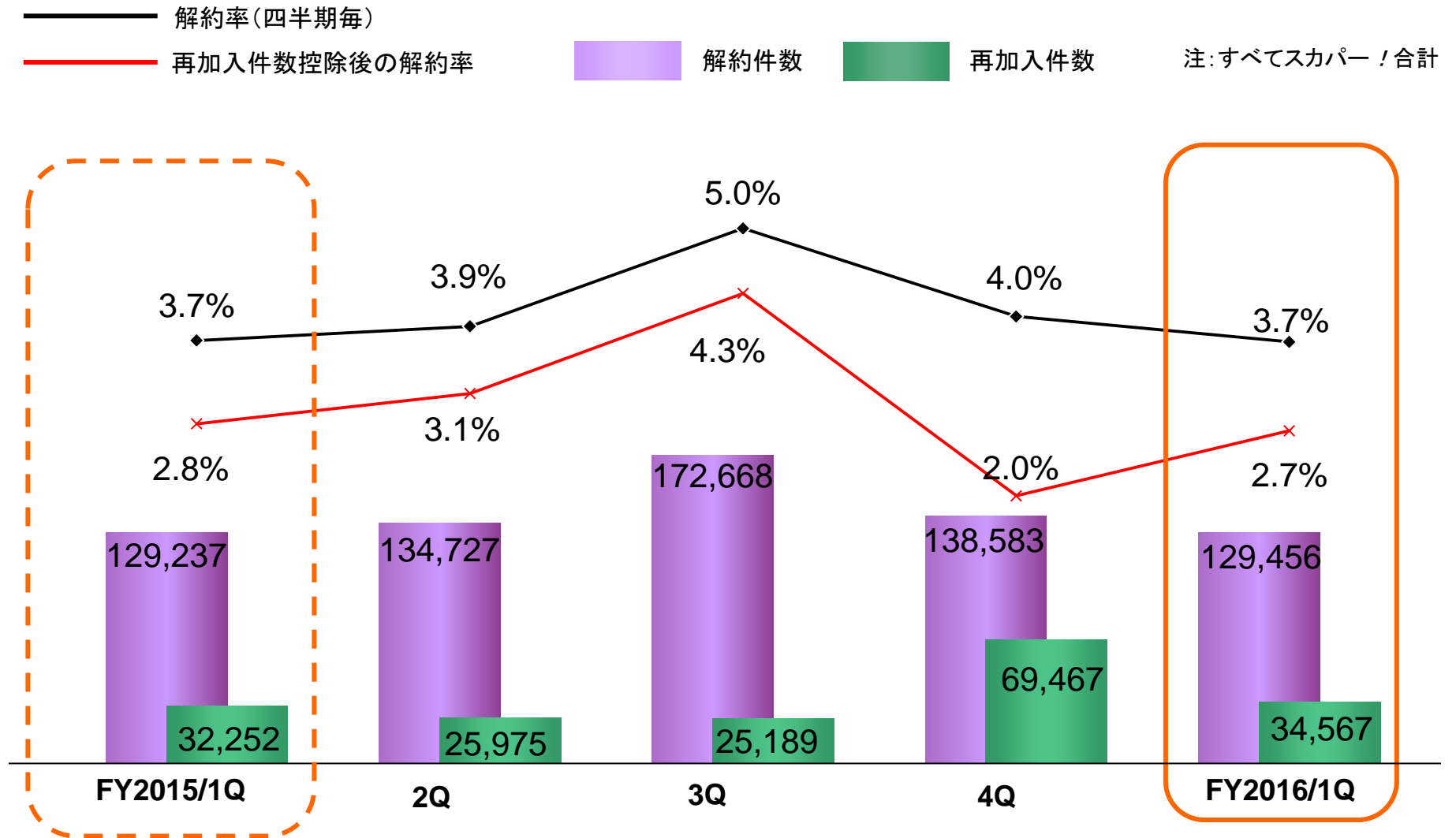
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位:千件)

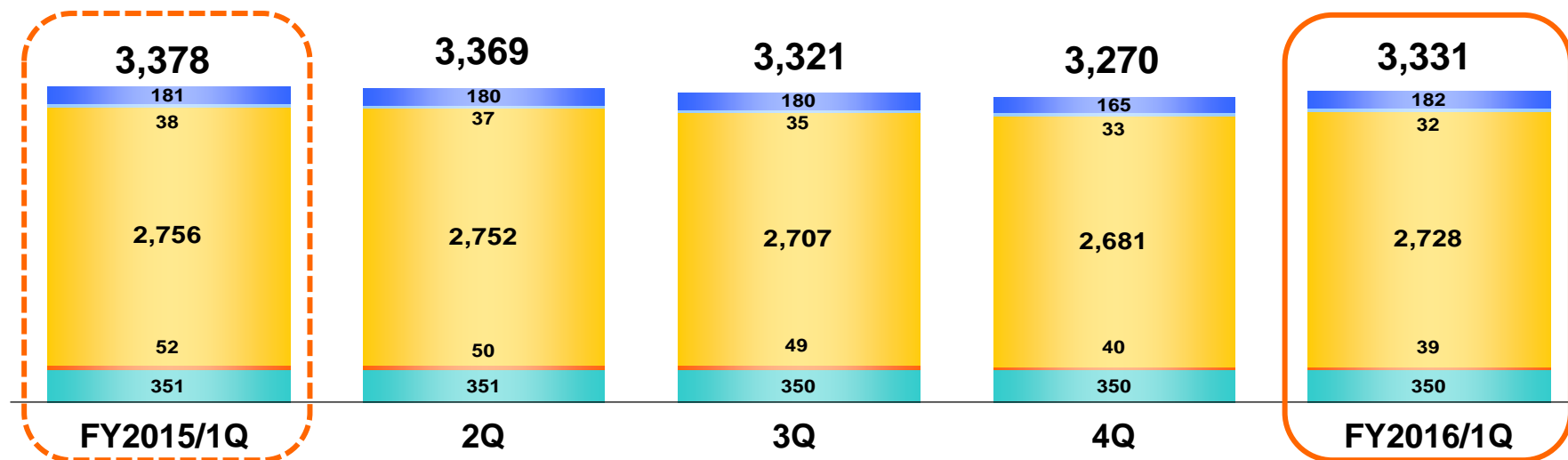


解約率の推移

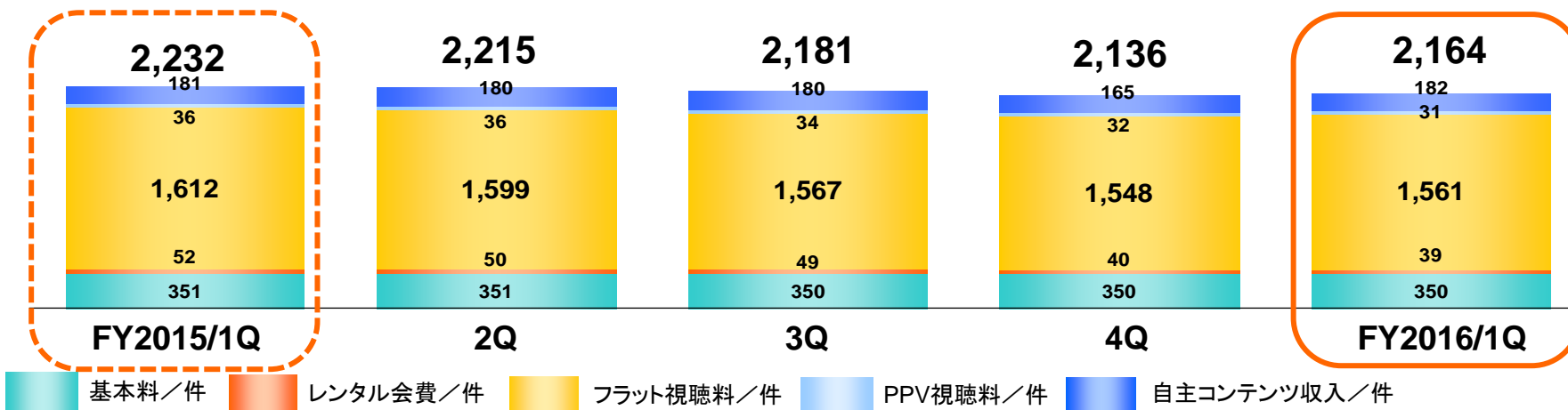


2015年度第3四半期決算説明会資料までは、各四半期の月次解約率の平均を解約率として表示しておりましたが、当決算説明会資料より、各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)

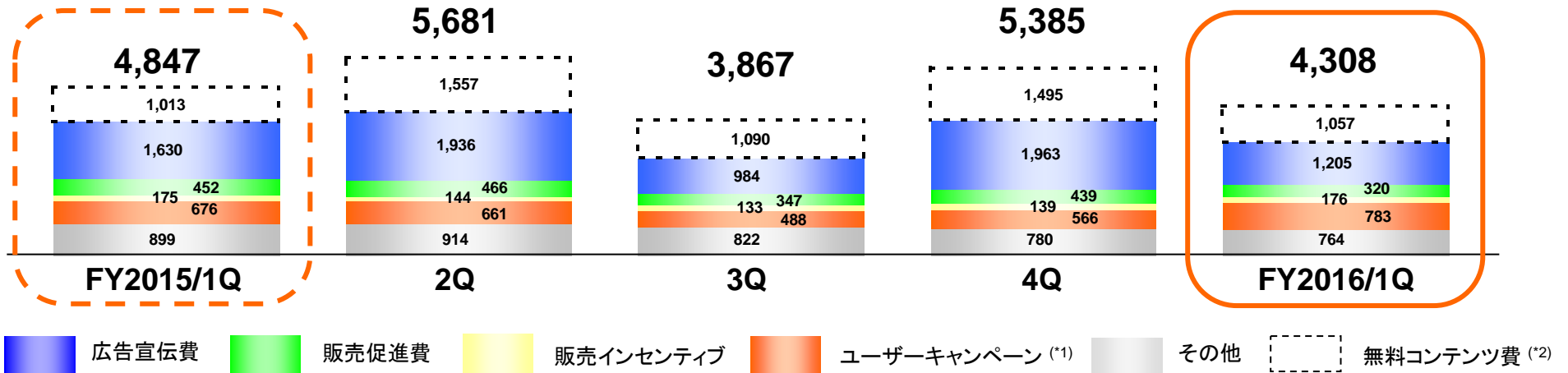


*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

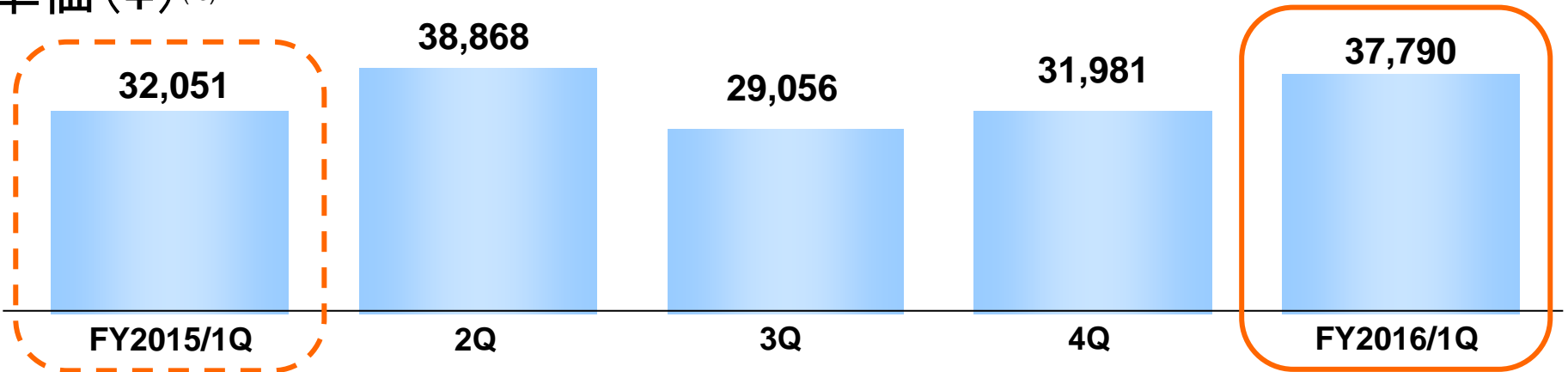
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

TEL: 03-5571-1515

FAX: 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp